

2024(令和6)年度
学校推薦型選抜(後期指定校/指定校B) 入学試験問題
小論文
(時間 60分)

下の新聞記事を読み、「学校給食の無償化」について300字以上600字以内で論じなさい。その際、次の①、②、③のプロセスに従って議論を展開しなさい。

- ①学校給食を無償化する自治体が相次ぎ、全国一律無償化を求める声も高まっている。この背景には何があるか、簡潔に述べなさい。
- ②給食を無償化することによって期待される様々な効果について述べなさい。
- ③「学校給食の無償化」について、あなた自身の考えを論じなさい。

なお、誤字・脱字、常用漢字不使用は減点の対象となるので注意しなさい。また、指定された文字数に満たない場合は、評価対象外になります。

増える学校給食の無償化 幅広い恩恵 コロナで再認識

学校給食を無償化する自治体が相次いでいます。新型コロナウイルス禍で学校が休校になり、給食の大切さを多くの人が再認識したためです。無償化は保護者や教職員、地域などに幅広い恩恵があります。国費で全国一律の無償化を求める声も強まってきました。

最近の地方選挙では、多くの候補者が学校給食の無償化を公約に掲げ、実現を競っています。急速な広がりについて給食問題に詳しい千葉工業大学の福嶋尚子准教授は「コロナ禍の経験が大きい」と話します。

学校が休校になり、保護者は3食つくる必要に迫られました。働く親が当たり前の今、子育て世帯には大きな負担です。家庭だけで栄養バランスをとるのは難しく、長い休校の後、食生活の乱れがうかがえる子どもが増えたといえます。

給食の大切さを多くの人が理解したところに、物価高が重なりました。給食が重要であるなら、保護者の給食費負担を上げるのではなく、無償化に踏み切った方がよいと考える首長が増えたようです。

無償化は教職員にもメリットがあります。未納の給食費を督促するのは大変で、自腹を切ることもあるためです。多忙な教職員の働き方改革に資する効果は大きいといえます。

未納や物価高で財源が足りなくなると、栄養士は1品減らすなどの対策を迫られ、栄養価が基準を満たせないことにもなりかねません。民間の給食事業者が経営難に陥り、給食が届かないこともありました。

財源が不安定な保護者負担でなく、自治体予算で確保すればこうした問題の解消につな

がります。福嶋さんは「無償化に必要な財源は自治体予算の1%ほど。無償化した自治体を見ると財政力のあるなしはあまり関係ない。首長の決断次第だ」と指摘します。

学校給食の重要性が再認識され、自治体の関与が強まっていく先の姿として、福嶋さんが構想するのが、「地域給食」です。

学校の給食施設を使って子ども食堂の代わりに給食を出したり、お年寄りや生活の苦しい人などにも食事を提供したりする。誰もが食事に困らない「食の権利」を保障する環境を整えようという考え方です。

地域の様々な人に給食を提供すれば給食は学校の手を離れ、行政サービスになります。地元の食材調達や調理人の雇用などで産業振興にもつながります。

学校給食は自治体任せのため、給食施設のない地域もまだあります。地域に幅広い恩恵をもたらす給食施設なら行政が担う意味も大きいといえます。

現在の無償化の多くは、物価高対策の臨時交付金などを財源にした期間限定の措置です。全国の小中学校の給食を無償化するには、5000億円ほどの財源が必要とされます。文部科学省は1年かけて無償化の実態を調査し、国費で無償にするか検討する方針です。

(出典：2023年12月11日 日本経済新聞 夕刊)